

未来を創る 情報活用力

P検

ICTプロフィシエンシー検定試験

AI時代のスタンダードとなる 新しい情報検定

デジタル技術を使いこなすために必要な「情報」の基礎知識を問う

高校の教科「情報」or 代替科目履修者向け

Webによる
CBT受検

実施期間内であればいつでも受検可能、
合否もその場でわかります。

「情報」の
総合的な
知識を測定

実社会に必要な「情報」の基礎が定着して
いるかを総合的に判定します。

再チャレン
ジ制度あり
(無料)

不合格者は1度だけ再受検が可能です。
*再受検での合格にも合格証明書は発行
されません。



デジタル技術を“活用できる”人材としての資格を証明

詳しくはWebでご確認ください
<https://p-series.benesse.ne.jp/>



出題領域

社会で求められる知識を3領域からバランスよく出題します。

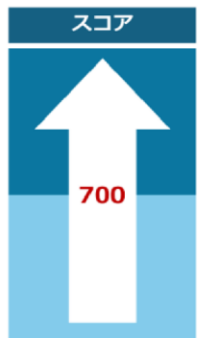
情報社会	変化の激しい時代こそ、正しく社会を理解することが大切です。情報セキュリティ、ネットリテラシーなど社会を生きていくうえで必要な知識を問います。 出題分野：著作権/セキュリティ技術・対策/インターネットをめぐるトラブル・対策/情報技術がもたらす社会の変化など
デジタル技術	自身の課題にあわせてデジタル技術の活用方法を考え実践していくためには、技術の裏側にある仕組みの理解が大切です。能動的な活用にあたって必須となる知識理解を問います。 出題分野：プログラミング/モデル化とシミュレーション/ネットワーク・インターネットの仕組み、など
データサイエンス	多様なデータがあふれる昨今では、情報を適切に読み解く力が必要です。そのような正しいデータの取扱いができていないかを見極めます。 出題分野：データベース/データの分析/データの表現、など

レベル・合格基準

スコア700以上で合格です。

- ・レベルは「スタンダード」1種類のみです。
- ・正解率の目安は各検定回の本受検・再受検ごとに変動します。
- ・スコアは、500～1000の間で表示します。

正解率の目安
60%前後



結果返却

受検結果は受検後すぐにわかります。

受検結果（受検者全員）と合格認定証（合格者のみ）を、受検後すぐにPDF形式でWeb返却しています。生徒の強み・弱みが一目でわかります。また、先生向けの団体用の結果も、Webで確認可能です。

2025年からP検は新しい形へ生まれ変わりました。

AIの登場で技術の進歩がめざましく変化の激しい今の時代、求められるのはデジタル技術を使いこなして課題解決へと導く力です。しかし、適切にデジタル技術を使うためには前提として身につけておくべき“リテラシー”が存在し、デジタル技術が動作する裏側の“仕組み”を理解しておく必要があります。P検は、そんなデジタル技術を使いこなすための土台となる知識の定着度を総合的に測ります。

ポイント①

再受検可能（無料）

不合格でも1回のみ再受検が可能。合格しやすい設計です。

ポイント②

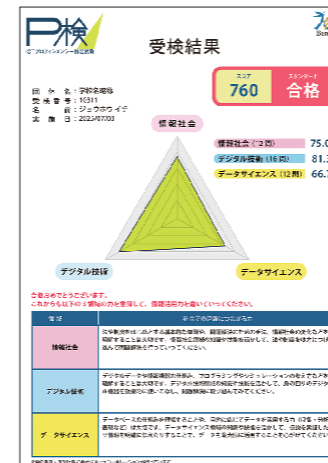
模擬試験3回分を提供（無料）

十分に準備をしたうえで検定に臨めます。

ポイント③

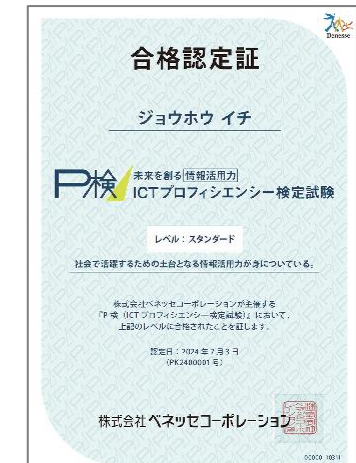
1名からの希望者実施にも対応

生徒の興味関心にあわせて活用をご検討いただけます。



受検結果（見本）

合否はスコアで判定。3領域の力が一目でわかります。



合格認定証（見本）

受検後、いつでもWebからダウンロードが可能です。

※問題見本は、次ページ参照ください。

「情報」の“知識”を社会で活用できるか試す出題

問題サンプルは、こちらでご覧いただけます。
<https://p-series.benesse.ne.jp/sample/>



実社会における場面を想定し、学びを生かして解答を導けるかを問うています。教科学習の集大成としてご活用いただけます。

※問題はイメージです。

情報社会(例)

■ 問題発見・解決の方法

ある学校では、生徒会が文化祭のテーマを決めるためにブレインストーミングを行っている。ブレインストーミングの基本原則として最も適切なものはどれか。

1. ブレインストーミングを進めるのと並行してすべてのアイデアを評価する。
2. 他人のアイデアを否定しない。(正解)
3. どんなアイデアでも時間をかけていねいに議論する。
4. リーダーがすべてのアイデアを決定する。

問いのポイント 生徒に身近な場面を取り上げて、ブレインストーミングの基本原則を正しく理解できているかを問うている。

■ 情報技術がもたらす社会の変化

ある病院では、遠隔医療(いりょう)システムを利用して専門医の診察を提供している。このシステムにより、離島(りとう)の住民も都市部と同じレベルの医療サービスを受けられるようになった。遠隔医療システムの導入によって解決される問題として、最も適切なものはどれか。

1. 薬剤の供給不足
2. 医療サービスの地域格差(正解)
3. 医療従事者の育成
4. 患者のプライバシー保護

問いのポイント 現実社会の場面を題材に、情報技術の発展による生活への変化を正しく理解できているかを問うている。

デジタル技術(例)

■ プログラミング

※P検で出題するプログラミングの問題は、共通テスト用プログラム表記を使用しています。

Bさんはオンライン学習教材で、受講者の学習進捗状況(がくしゅうしんちょくじょうきょう)に応じてメッセージを表示するプログラムを作成することにした。gakushuは学習進捗状況(0~100%)を示しており、学習進捗状況が、50%未満、50%以上80%未満、80%以上100%未満、100%の場合にそれぞれ異なるメッセージを表示するものとする。

- (1) `gakushu = 80`
- (2) もし `gakushu < 50` ならば:
- (3) | 表示する("遅れています。がんばりましょう!")
- (4) そうでなくもし `A` ならば:
- (5) | 表示する("順調に進んでいます。")
- (6) そうでなくもし `gakushu < 100` ならば:
- (7) | 表示する("あと少しで完了します。")
- (8) そうでなければ:
- (9) | 表示する("完了しました!")

空欄Aにあてはまるものとして正しいものはどれか。

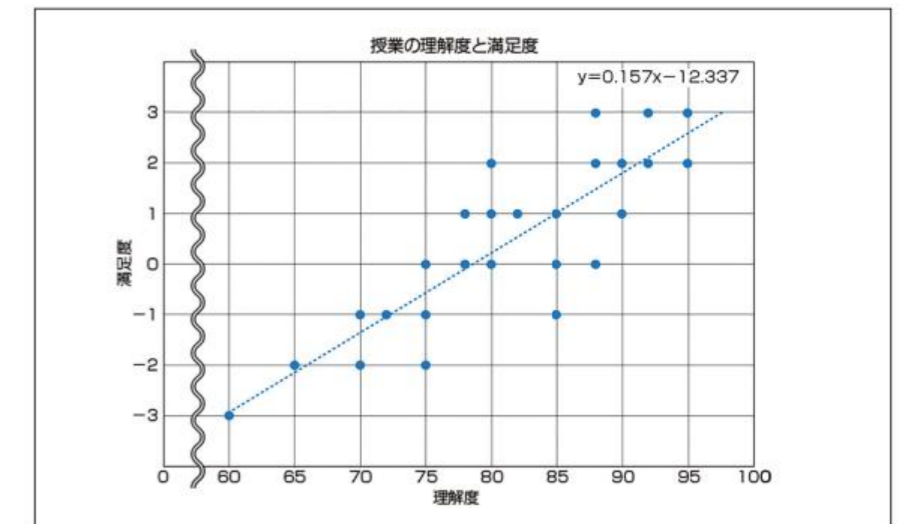
1. `gakushu > 80`
2. `gakushu <= 50 and gakushu > 80`
3. `gakushu < 80`(正解)
4. `gakushu >= 50 or gakushu < 80`

問いのポイント プログラムの分岐構造について理解し、プログラムの流れに合うように条件を正しく選べるかを問うている。

データサイエンス(例)

■ データの分析

ある高校の生徒30人を対象に、授業の理解度と満足度について調査を実施した。そして、その結果をもとにグラフを作成した。なお、理解度(0~100)と満足度(-3~3)は値が大きいほどそれぞれが高いことを表す。



この調査の結果において相関係数が0.87であった。このことから授業の理解度と満足度の間にある関係として、正しいものはどれか。

1. 授業の理解度と満足度には強い正の相関がある。(正解)
2. 授業の理解度と満足度には強い負の相関がある。
3. 授業の理解度と満足度には弱い正の相関がある。
4. 授業の理解度と満足度には相関がない。

問いのポイント 身のまわりで実際に直面し得る架空の設定において、相関関係の知識を正しく理解しているかを問うている。

付属の無料模擬試験(3回分)で
事前に練習ができます

実施スケジュール・お問い合わせ先

実施スケジュール

年度内2回の実施、再受検も可能です。

検定期間の間であればいつでも受検可能です。不合格の場合は1回のみ無料で再受検いただけます。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
検定				第1回 7/1(水)～7/31(金)							第2回 2/1(月)～2/28(日)	
再受検				第1回 再受検 7/1(水)～8/31(月)							第2回 再受検 2/1(月)～3/31(水)	

P検 (ICTプロフィシエンシー検定試験)

主催者	株式会社ベネッセコーポレーション
実施会場	貴校 ※学校とりまとめでの実施のみ。個人での受検はできません。
日程	・第1回: 2026年7月1日(水)～7月31日(金) 第1回再受検期間: 2026年7月1日(水)～8月31日(月) ・第2回: 2027年2月1日(月)～2月28日(日) 第2回再受検期間: 2027年2月1日(月)～3月31日(水) ※再受検は、各回の実施期間内での再受検となります。
申込み開始日	・第1回: 2026年4月1日(水) ・第2回: 2026年10月1日(木)
対象者	高校1年生～3年生
測定する力	「情報I」をベースに、DXリテラシー標準に対応した情報活用力
出題領域	①情報社会 ②デジタル技術 ③データサイエンス ※4つの選択域から正答選択いただく形式
出題形式	IBT (選択式問題ほか) ※検定は、株式会社シー・ビー・ティ・ソリューションズの出題システムを利用して実施します。 ※IBTとはInternet Based Testingの略称で、インターネットを介してパソコン・タブレットで実施します。
レベル / 解答時間	スタンダード / 45分
合格基準	スコア700点以上 (60%程度の正答率が目安)
検定料 (税込)	ご請求額: 2,500円(標準検定料: 2,700円)
受検結果 (生徒用)	受検結果 (受検者全員)と合格認定証 (合格者のみ)を、受検直後にPDF形式でWeb返却
受検結果 (先生用)	Webで確認可能

お問い合わせ・お申し込みは情報サイト「Benesse High School Online」にて承ります。

Benesse High School Online

https://bhso.benesse.ne.jp

ハイスクールオンライン

※ご利用には学校ID・ログインコードまたは先生個人ID・パスワードが必要です。先生個人IDは同サイト「先生・生徒ID管理」内の「先生ID登録・変更」から登録していただくことができます。
※学校ID・ログインコードがご不明な場合は、「AIチャットに質問する」にて「学校IDについて」とご入力ください。ログイン前の画面でも質問入力は可能です。



- お申し込み/請求書出力
教材のお申し込み/見本請求
お申し込み済教材の確認、変更
請求書、見積書などの経理書類出力
- よくあるご質問 お問い合わせ
よくあるご質問/お問い合わせ
- AIチャットに質問する
お気軽に質問をご入力ください。

サイトのレイアウト等は変更する場合があります。ご了承ください。

弊社教材・サービスにおける個人情報の利用目的・取り扱い

各採択校にお申し込みいただいた弊社教材・サービスの利用に際して、ご提供いただく生徒様の個人情報は、当該教材および付随サービス提供の目的で利用します。その情報を必要に応じて弊社が提供する他のサービスの情報と併せて、弊社の学習・進路・進学・就職支援のための教材・情報提供サービス等の基礎資料・データとして利用します。また、当該情報を分析し統計化した情報は、商品・サービスに係る研究開発を目的として、ベネッセグループ会社または関連会社、教育・研究機関やその他提携する法人等に、情報の取り扱いに関する契約を交わしたうえで提供することがあります。なお、弊社または提供先が情報の分析・解析のために、情報を加工・変更することがあります。個人情報は学校様および生徒様の意思に基づきご提供いただけますが、不足がある場合は弊社からの商品・サービスの提供が行えないことがありますので、あらかじめご了承ください。成績推移データの提供や、毎年の入試結果の総括を行い次年度の入試動向を予測する統計データ等作成のために、提供いただいた情報を一定期間保管いたしますが、その情報の取り扱いにつきましては必要かつ適切な措置を講じて万全の配慮を行います。弊社は、個人情報の取り扱いを、第三者に業務委託することがありますが、その場合には委託契約を交わしたうえで、適切な管理をいたします。このような業務委託および、法令の定めによる場合を除き、ご提供いただいた個人情報を、事前の同意なく第三者に提供することは一切ありません。

株式会社ベネッセコーポレーション(個人情報保護最高責任者)

(お問い合わせ先)

個人情報の取り扱いおよび管理についてのお問い合わせは、全国の先生方からのテスト・教材等のお問い合わせ窓口であるお客様サービスセンターにて、承ります。

0120-350455 (通話料無料)

受付時間/月～金8:00～18:00 土8:00～17:00

(土日、年末・年始を除く)

〒700-8686岡山県岡山市北区南方3-7-17

なお、弊社の個人情報保護方針につきましては、https://www.benesse.co.jp/privacy/ に掲載しております。

データ取り扱いへの取り組み

データ集計等のシステムにおいては万全の機密性を確保し、厳重な管理のもとに取り扱っております。

■プライバシーマーク付与事業者として活動しています。(2016年取得後、継続更新中)



プライバシーマーク制度は、個人情報の取り扱いを適切に行っている事業者を、第三者機関である(財)日本情報経済社会推進協会(JIPDEC)及びその指定機関が評価・認定し、その証としてプライバシーマークロゴの使用を許諾する制度です。

■ISMS 取得事業所でのデータ集計を行っています。

ISMSとは、企業・組織の情報システムの機密性、完全性、可用性が確保され維持されているかどうかを確認する規格です。

※ご紹介には2025年9月時点予定情報、開発中デザインを含んでいます。内容は変更される場合があります。

株式会社ベネッセコーポレーション